

■開講科目一覧■

2019 年度入学 幼児教育コース 1 回生

●共通科目●

科目名		形態	単位	年次	学期	卒	幼	保	担当者
一般教養科目	歴史と文化	日本の歴史	講	2					(未開講)
		児童文化	講	2	1(高)	後(通*)			葛目 巳恵子 他
		子どもの文化	講	2	(高)	(通*)			未開講
		ピアノ入門	演	1	(高)	(通*)			福坂 規子 他
	社会と人間	日本国憲法	講	2	1	後		○	青木 淳英
		経済学	講	2					(未開講)
		女性学・男性学	講	2	1	前			(未開講)
	地球と自然	生物の多様性	講	2	1	前			角谷 邦明
		現代生活の科学	講	2					未開講
	外国語科目	英語 A	演	1	1	前/後		△	
英語 B		演	1	1	前/後		△		鯨坂 はるよ
英語 C		演	1	2	前				(鯨坂 はるよ)
英語 D		演	1	2	後				(鯨坂 はるよ)
英語 E		演	1	1	後				鯨坂 はるよ
中国語 A		演	1	1	前		△		朴 雪梅
中国語 B		演	1	1	後		△		朴 雪梅
情報処理科目	コンピュータ・リテラン A	演	1	1	前		●		森 大樹, 広瀬 勝則
	コンピュータ・リテラン B	演	1	1	後		●		森 大樹, 広瀬 勝則
	コンピュータ・リテラン C	演	1	2	前		●		(森 大樹)
	コンピュータ・リテラン D	演	1	2	後		●		(森 大樹)
保健体育科目	体育理論	講	1	2	後		○	○	(吉井 英博)
	体育実技	実	1	2	前		○	○	(吉井 英博)
キャリア支援科目	保育基礎	講	2	(高)	(通*)				寄 ゆかり, 伊藤 一雄, 澤 ひとみ
	キャリアデザイン I	講	2	1	通*				阪田 啓代
	キャリアデザイン II	講	2	2	通*				(阪田 啓代)

[注] (氏名) 2 年次開講学期・担当者は未定。参考までに () 内に今年度のものを記載。

形態欄: 講=講義 演=演習 実=実習実技

年次欄: 1=1 回生時 2=2 回生時 高=高短連携科目

学期欄: 前=前期 後=後期 通=通年(30 回) 通*=通年(15 回)

集=集中

卒=卒業要件 幼=幼稚園教諭二種免許状 保=保育士資格

凡 例	
□	— 3 単位以上必修(卒)
○	— 必修科目(卒・幼・保)
無印	— 選択科目(卒・幼・保)
★	— 4 単位以上必修(卒)
■	— 2 単位必修(卒)
◆	— 2 科目 2 単位以上必修(卒)
●△	— 2 科目 2 単位以上必修(幼)
◇▼	— 1 科目必修(幼)
AB	— A 2 科目または B 2 科目必修(保)

●専門科目●

科目名		形態	単位	年次	学期	卒	幼	保	担当者
保育内容領域に関する専門的事項	幼児と健康	演	1	1	前		○	○	吉井 英博
	幼児と人間関係	演	1	1	前		○	○	木野 仁美
	幼児と環境	演	1	1	後		○	○	
	幼児と言葉	演	1	1	後		○	○	
	幼児と表現	演	1	1	前		○	○	吉垣 隆雄, 寄 ゆかり
	表現技術(ピアノⅠ)	演	1	1	前		○	○	寄 ゆかり, 瀬尾 麻巳 他
	表現技術(ピアノⅡ)	演	1	1	後		○	C	寄 ゆかり, 瀬尾 麻巳 他
	表現技術(造形Ⅰ)	演	1	1	前		○	○	吉垣 隆雄
	表現技術(造形Ⅱ)	演	1	1	後		○	C	吉垣 隆雄
保育内容の指導法	保育内容総論	演	1	1	前		○	○	澤 ひとみ
	保育内容の指導法(健康Ⅰ)	演	1	1	後		○	○	吉井 英博
	保育内容の指導法(健康Ⅱ)	演	1	2	後		◇	C	(吉井 英博)
	保育内容の指導法(人間関係)	演	1	2	前		○	○	(木野 仁美)
	保育内容の指導法(環境)	演	1	2	後		○	○	
	保育内容の指導法(言葉Ⅰ)	演	1	1	後		○	○	
	保育内容の指導法(言葉Ⅱ)	演	1	2	前		◇	C	
	保育内容の指導法(造形表現Ⅰ)	演	1	2	前		○	▼	(吉垣 隆雄)
	保育内容の指導法(造形表現Ⅱ)	演	1	2	後		○	▼	(吉垣 隆雄)
	保育内容の指導法(音楽表現Ⅰ)	演	1	1	前		○	◇	寄 ゆかり
	保育内容の指導法(音楽表現Ⅱ)	演	1	1	後		○	◇	寄 ゆかり
	保育内容の指導法(総合表現)	演	1	2	後		○	C	(甲 由利子)
教育と保育に関する基礎的理解等	教育学	講	2	1	前	■	○	○	今滝 憲雄
	教職・保育者論	講	2	1	前		○	○	板倉 史郎, 伊藤 一雄, 葛目 巳恵子, 八田 真美
	教育制度論	講	2	2	後		○		(今滝 憲雄)
	教育心理学	講	2	2	後	◆	○	○	(木野 仁美)
	特別支援教育	演	1	1	前		○	○	宮本 直美
	特別支援教育・保育演習	演	1	2	後			○	(宮本 直美)
	教育課程論	講	2	1	後		○	○	澤 ひとみ
	保育方法論	講	2	2	後		○	C	(澤 ひとみ)
	乳幼児理解	演	1	2	前	◆	○	○	(木野 仁美)
	教育相談	講	1	2	後	★	○	○	本田 和隆, 宮本 直美
	教育実習	実	4	1	前集		○		板倉 史郎, 寄 ゆかり, 本田 和隆 他
				2	前集			板倉 史郎, 寄 ゆかり, 本田 和隆 他	
	教育実習指導	演	1	1	通		○		板倉 史郎, 寄 ゆかり, 本田 和隆 他
2				前			板倉 史郎, 寄 ゆかり, 本田 和隆 他		
保育・教職実践演習	演	2	2	後		○	○	(板倉 史郎, 伊藤 一雄)	
保育と福祉	保育原理	講	2	1	前	■		○	澤 ひとみ
	子ども家庭福祉	講	2	1	後	★		○	本田 和隆
	社会福祉	講	2	1	前	★		○	本田 和隆
	子ども家庭支援論	講	2	1	後			○	宮本 直美
	社会的養護Ⅰ	講	2	1	後	★		○	本田 和隆
	社会的養護Ⅱ	演	1	2	前			○	(本田 和隆)
	子ども家庭支援の心理学	講	1	1	後			○	木野 仁美
	子どもの保健	講	2	1	後			○	釜島 美智代
	子どもの食と栄養	演	2	2	通			○	(人見 玲子)
	乳児保育Ⅰ	講	2	2	前			○	澤 ひとみ
	乳児保育Ⅱ	演	1	2	後			○	澤 ひとみ
	子育て支援	演	1	2	後	★		○	(宮本 直美)
	児童ソーシャルワーク論	演	2	2	後集	★		C	(本田 和隆)
	保育実習Ⅰ(保育所)	実	2	1	後集			○	板倉 史郎, 寄 ゆかり, 本田 和隆 他
	保育実習Ⅰ(福祉施設)	実	2	2	前集			○	(板倉 史郎, 本田 和隆, 寄 ゆかり他)
	保育実習指導Ⅰ(保育所)	演	1	1	通			○	板倉 史郎, 寄 ゆかり, 本田 和隆 他
	保育実習指導Ⅰ(福祉施設)	演	1	1	後			○	板倉 史郎, 本田 和隆, 寄 ゆかり他
				2	前			○	(板倉 史郎, 本田 和隆, 寄 ゆかり他)
	保育実習Ⅱ	実	2	2	前集			A	(板倉 史郎, 本田 和隆, 寄 ゆかり他)
	保育実習指導Ⅱ	演	1	2	前			A	(板倉 史郎, 本田 和隆, 寄 ゆかり他)

科目名		形態	単位	年次	学期	卒	幼	保	担当者
	保育実習Ⅲ	実	2	2	前集			B	(板倉 史郎, 本田 和隆, 寄 ゆかり他)
	保育実習指導Ⅲ	演	1	2	前			B	(板倉 史郎, 本田 和隆, 寄 ゆかり他)
	児童館の機能と運営	講	2	2	前			C	(飯島 仁美, 本田 和隆)
	児童館の活動内容と指導法	講	2	2	後			C	(飯島 仁美, 本田 和隆, 宮本 直美)
教育・保育・福祉 関連・発展科目	医学一般	講	2	2	後			C	(森田 婦美子)
	器楽活用法Ⅰ	演	1	2	前			C	(寄 ゆかり 他)
	器楽活用法Ⅱ	演	1					C	未開講
	こども音楽療育概論	講	2	1	前/後			C	小原 敦子
	こども音楽療育演習	演	1	2	通*			C	(木野 仁美)
	こども音楽療育実習	実	1	2	後集			C	(寄 ゆかり)
	手話入門	演	1	1	前/後			C	山本 豊子
	対人援助特別講座Ⅰ	講	2	1	集				各担当
	対人援助特別講座Ⅱ	講	2	1	集				各担当
	対人援助特別講座Ⅲ	講	2	1	集				各担当
	対人援助特別講座Ⅳ	講	2	1	集				各担当
	対人援助特別講座Ⅴ	講	2	1	集				各担当
	対人援助特別講座Ⅵ	講	2	1	集				各担当
ゼミナール	ゼミナールⅠ	演	2	1	通	○		○	各ゼミ担当
	ゼミナールⅡ	演	2	2	通	○		○	(各ゼミ担当)

[注] ※2年次開講学期・担当者は未定。参考までに()内に今年度のものに記載。

形態欄： 講＝講義 演＝演習 実＝実習実技

年次欄： 1=1回生時 2=2回生時 高=高短連携科目

学期欄： 前＝前期 後＝後期 通＝通年(30回) 通*＝通年(15回)

集＝集中

卒＝卒業要件 幼＝幼稚園教諭二種免許状 保＝保育士資格

凡 例	
□	— 3単位以上必修(卒)
○	— 必修科目(卒・幼・保)
無印	— 選択科目(卒・幼・保)
★	— 4単位以上必修(卒)
■	— 2単位必修(卒)
◆	— 2科目2単位以上必修(卒)
●△	— 2科目2単位以上必修(幼)
◇▼	— 1科目必修(幼保)
AB	— A 2科目またはB 2科目必修(保)
C	— 2単位必修(保)

卒業要件

2019年度入学 幼児教育コース 1回生

共通科目	一般教養科目	文化と歴史	4以上	① 8以上 (a)	③	④ 合計 62単位 以上 (a+b+c)
		社会と人間				
		地球と自然				
	外国語科目					
	情報処理科目					
保健体育科目						
キャリア支援科目						
専門科目	必修	ゼミナールⅠ	2	4	② 38以上 (b)	
		ゼミナールⅡ	2			
	選択必修	□印のうち2単位以上	2以上	10以上		
		★印のうち4単位以上	4以上			
		■保育原理又は教育学概論	2以上			
		◆印のうち2単位以上	2以上			
	選択	その他の科目	24以上			

履修方法

① 共通科目(8単位以上)

- ・一般教養科目から4単位以上を含む

② 学科専門科目 38単位以上

- ・必修科目 「ゼミナールⅠ」(2単位)
「ゼミナールⅡ」(2単位)

・選択必修科目(10単位以上)

□(保育内容)：2単位以上

「保育方法論(2単位)」「幼児と人間関係(1単位)」「幼児と環境(1単位)」

「幼児と言葉Ⅰ(1単位)」「幼児と表現(1単位)」「幼児と健康(1単位)」

「表現技術(ピアノⅠ)(1単位)」「表現技術(ピアノⅡ)(1単位)」

「表現技術(造形Ⅰ)(1単位)」「表現技術(造形Ⅱ)(1単位)」

★(福祉)：4単位以上

「社会福祉(2単位)」「子ども家庭福祉(2単位)」「子ども家庭支援論(2単位)」

「社会的養護Ⅰ(2単位)」「社会的養護Ⅱ(1単位)」

■(保育・教育)：2単位以上

「保育原理(2単位)」「教育学(2単位)」

◆(発達・心理)：2単位以上

「教育心理学(2単位)」「乳幼児理解(1単位)」「教育相談(1単位)」

③ 選択科目 24単位以上

④ 共通科目または専門科目の中から、さらに16単位以上

⑤ ①②③の要件をすべて満たしつつ、合計62単位以上

▼単位互換科目

(放送大学科目) 3科目6単位まで、卒業必要単位数に含むことができる。ただし、共通科目に位置づける。

免許・資格等の取得について

幼児教育コース 1回生 2019年度入学

幼稚園教諭二種免許状
保育士資格
社会福祉主事任用資格
児童厚生二級指導員資格
こども音楽療育士
保健児童ソーシャルワーカー(受験資格)
資格にかかわる手続き費用について

幼稚園教諭二種免許状について

教育職員免許法に基づく、本学の教育課程は以下の通り

最低必要単位数

免許状の種類	基礎資格	A 施行規則 66 条の 6	B 領域及び保育内容の 指導法に関する科目	C 教育の基礎的理解に関する 科目等
幼稚園教諭 二種免許状	大学に 2 年以上在学し、 卒業要件を満たし、62 単 位以上を修得して短期大 学士の学位を得ること。	8 単位以上	14 単位以上	22 単位以上

A 施行規則 66 条の 6 に基づく科目(教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目)

教育職員免許法施行規則 第 66 条の 6 に定める科目 区分	本学での科目名	単位	履修方法	必要単位数
日本国憲法	日本国憲法	2 単位	必修	8 単位以上
外国語コミュニケーション	英語 A	1 単位	4 科目より 2 科目選択必修	
	英語 B	1 単位		
	中国語 A	1 単位		
	中国語 B	1 単位		
情報機器の操作	コンピュータ・リテラシ A	1 単位	4 科目より 2 科目選択必修	
	コンピュータ・リテラシ B	1 単位		
	コンピュータ・リテラシ C	1 単位		
	コンピュータ・リテラシ D	1 単位		
体 育	体育理論	1 単位	必修	
	体育実技	1 単位		

B 領域及び保育内容の指導法に関する科目

科目 区分	各科目に 含めること が必要な事項	本学での科目名	必修単位	選択単位	履修方法	必要単位数		
領域 及び 保育 内容 の 指導 法 に 関 する 科 目	健康 に関する 専門的 事項	健康	幼児と健康	1 単位		全て必修	9 単位	
		人間関係	幼児と人間関係	1 単位				
		環境	幼児と健康	1 単位				
		言葉	幼児と言葉	1 単位				
	保育 内容 の 指導 法	表現	表現	幼児と表現	1 単位		健康Ⅱ、言 葉Ⅱから 1 科目選 択必修	11 単位以上
			表現技術(ピアノⅠ)		1 単位			
			表現技術(ピアノⅡ)		1 単位			
			表現技術(造形Ⅰ)		1 単位			
			表現技術(造形Ⅱ)		1 単位			
			保育内容総論		1 単位			
			保育内容の指導法(健康Ⅰ)		1 単位			
			保育内容の指導法(健康Ⅱ)			1 単位		
			保育内容の指導法(人間関係)		1 単位			
保育内容の指導法(環境)		1 単位						
保育内容の指導法(言葉Ⅰ)		1 単位						
保育内容の指導法(言葉Ⅱ)			1 単位					
保育内容の指導法(造形表現Ⅰ)		1 単位						
保育内容の指導法(造形表現Ⅱ)		1 単位						
保育内容の指導法(音楽表現Ⅰ)		1 単位						
保育内容の指導法(音楽表現Ⅱ)		1 単位						
保育内容の指導法(総合表現)		1 単位						

C 教育の基礎的理解に関する科目等

科目	科目に含めることが必要な事項	本学での科目名	単 位	履修方法	必要単位数
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育学	2 単位	必修	11 単位
	教職の意義及び教育の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む)	教職・保育者論	2 単位	必修	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育制度論	2 単位	必修	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2 単位	必修	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育	1 単位	必修	
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育課程論	2 単位	必修	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育の方法及び技術(情報に関する基礎的知識を含む。)の理論及び方法	保育方法論	2 単位	必修	4 単位
	幼児理解の理論及び方法	乳幼児理解	1 単位	必修	
	教育相談	教育相談	1 単位	必修	
教育実践に関する科目	教育実習	教育実習指導	1 単位	必修	7 単位
		教育実習	4 単位	必修	
	教職実践演習	保育・教職実践演習	2 単位	必修	

保育士資格について

次に定める所定の科目(単位)を修めて卒業すること

系列	告示による教科目	本学での科目名	形態	単位数		
共通科目	A 一般教養科目			4 単位以上	一般教養科目 4 単位以上 「体育理論・体育実技」2 単位を含め 合計 8 単位以上	
	B 情報処理科目		コンピュータ・リテラシ A	演習		1 単位
			コンピュータ・リテラシ B	演習		1 単位
			コンピュータ・リテラシ C	演習		1 単位
			コンピュータ・リテラシ D	演習		1 単位
	C 外国語科目		英語 A	演習		1 単位
			英語 B	演習		1 単位
			英語 C	演習		1 単位
			英語 D	演習		1 単位
			英語 E	演習		1 単位
			中国語 A	演習		1 単位
	D 保健体育科目		体育理論	講義		1 単位
		体育実技	実技	1 単位		
専門科目(必修)	保育の本質・目的に関する科目	保育原理	保育原理	講義	2 単位	
		教育原理	教育学	講義	2 単位	
		子ども家庭福祉	子ども家庭福祉	講義	2 単位	
		社会福祉	社会福祉	講義	2 単位	
		子ども家庭支援論	子ども家庭支援論	講義	2 単位	
		社会的養護 I	社会的養護 I	講義	2 単位	
		保育者論	教職・保育者論	講義	2 単位	
	保育の対象の理解に関する科目	保育の心理学	教育心理学	講義	2 単位	
		子ども家庭支援の心理学	子ども家庭支援の心理学	講義	1 単位	
		子どもの理解と援助	乳幼児理解	演習	1 単位	
		子どもの保健	子どもの保健	講義	2 単位	
		子どもの食と栄養	子どもの食と栄養	演習	2 単位	
	保育の内容・方法に関する科目	保育の計画と評価	教育課程論	講義	2 単位	
		保育内容総論	保育内容総論	演習	1 単位	
		保育内容演習	保育内容の指導法(健康 I)	保育内容の指導法(健康 I)	演習	1 単位
			保育内容の指導法(人間関係)	保育内容の指導法(人間関係)	演習	1 単位
			保育内容の指導法(環境)	保育内容の指導法(環境)	演習	1 単位
			保育内容の指導法(言葉 I)	保育内容の指導法(言葉 I)	演習	1 単位
			保育内容の指導法(造形表現 I)	保育内容の指導法(造形表現 I)	演習	1 単位
			保育内容の指導法(造形表現 II)	保育内容の指導法(造形表現 II)	演習	1 単位
			保育内容の指導法(音楽表現 I)	保育内容の指導法(音楽表現 I)	演習	1 単位
			保育内容の指導法(音楽表現 II)	保育内容の指導法(音楽表現 II)	演習	1 単位
		保育内容の理解と方法	幼児と人間関係	幼児と人間関係	演習	1 単位
			幼児と環境	幼児と環境	演習	1 単位
			幼児と言葉	幼児と言葉	演習	1 単位
			幼児と表現	幼児と表現	演習	1 単位
			表現技術(ピアノ I)	表現技術(ピアノ I)	演習	1 単位
			表現技術(造形 I)	表現技術(造形 I)	演習	1 単位
		乳児保育 I	乳児保育 I	講義	2 単位	
		乳児保育 II	乳児保育 II	演習	1 単位	
		子どもの健康と安全	幼児と健康	演習	1 単位	
		障害児保育	特別支援教育	演習	1 単位	
	特別支援教育・保育演習	演習	1 単位			
社会的養護 II	社会的養護 II	演習	1 単位			
子育て支援	子育て支援	演習	1 単位			
保育実習	保育実習 I	保育実習 I (保育所)	実習	2 単位		
		保育実習 I (福祉施設)	実習	2 単位		
	保育実習指導 I	保育実習指導 I (保育所)	演習	1 単位		
		保育実習指導 I (福祉施設)	演習	1 単位		
総合演習	保育実践演習	保育・教職実践演習	演習	2 単位		

54 単位

系列		本学での科目名	形態	単位数	
専門科目 (選択必修)	保育の本質・目的に関する科目	児童ソーシャルワーク論	演習	2単位	6単位以上 ゼミナールⅠ、ゼミナールⅡの必修科目を含む。
		医学一般	講義	2単位	
	保育の対象の理解に関する科目	児童館の機能と運営	講義	2単位	
		児童館の活動内容と指導法	講義	2単位	
	保育の内容・方法に関する科目	ゼミナールⅠ	演習	2単位	
		ゼミナールⅡ	演習	2単位	
		保育内容の指導法(健康Ⅱ)	演習	1単位	
		保育内容の指導法(言葉Ⅱ)	演習	1単位	
		保育内容の指導法(総合表現)	演習	1単位	
		表現技術(ピアノⅡ)	演習	1単位	
		表現技術(造形Ⅱ)	演習	1単位	
		保育方法論	講義	2単位	
		器楽活用法Ⅰ	演習	1単位	
		器楽活用法Ⅱ	演習	1単位	
		こども音楽療育概論	講義	2単位	
		こども音楽療育演習	演習	1単位	
		こども音楽療育実習	実習	1単位	
		手話入門	演習	1単位	
	保育実習	保育実習Ⅱ	実習	2単位	保育実習Ⅱ及び 保育実習指導Ⅱ または保育実習Ⅲ及び 保育実習指導Ⅲ必修
		保育実習指導Ⅱ	演習	1単位	
保育実習Ⅲ		実習	2単位		
保育実習指導Ⅲ		演習	1単位		
合 計					71単位以上

社会福祉主事任用資格について

◇社会福祉主事任用資格とは…

社会福祉主事任用資格は、公務員が福祉事務所などの福祉行政の仕事に従事する時に必要とされる要件です。
本来は民間の業務につく際に必要な資格ではありませんが、大学で社会福祉に関する科目を学んだことの証明として老人ホーム、障害者福祉施設、児童福祉施設などの採用の要件としている施設もあります。

◇社会福祉主事任用資格の取得について

厚生労働大臣の指定する社会福祉に関する科目のうち3科目以上を修めて卒業すること。

厚生労働大臣の指定する社会福祉に関する科目	幼児教育科	
	本学での科目名	単位数
社会福祉概論	社会福祉	2
児童福祉論	子ども家庭福祉	2
保育理論	保育原理 または 保育方法論	2
経済学	経済学	2
心理学	心理学	2
教育学	教育学	2
医学一般	医学一般	2

児童厚生二級指導員資格について

児童館・放課後児童クラブの機能と活動内容について学修し、遊びや生活を通して児童の健全育成を支援する専門職として認定される資格です。

本資格は、一般財団法人 児童健全育成推進財団が発行する。

1. 基礎資格として、保育士資格を取得すること。
2. 1.の要件を満たし、次に定める所定の科目(単位)を修めて卒業すること。

財団が指定する科目	単位数	本学での科目名		単位数
児童館・放課後児童クラブの機能と運営	2	児童館の機能と運営	講義	2
児童館・放課後児童クラブの活動内容と指導法 I	2	児童館の活動内容と指導法	講義	2
児童館実習 I (10 日)	2	保育実習Ⅲ	実習	2

【備考】「保育実習Ⅲ」は、児童館で実施するものとする。

「保健児童ソーシャルワーカー」の資格認定試験 受験資格について

「ソーシャルワーカー」とは困っている人への相談援助の専門職のことを言います。保育士・幼稚園教員はいわゆるソーシャルワーカーそのものではありませんが、社会福祉の専門的な援助技術であるソーシャルワークの知識と技術を知っておくことで、子どもたちや家族、生活している地域社会とのよりよい関係をつくりだし、効果的な子育て支援ができるのです。この資格では保育・養護の場面で必要とされるソーシャルワークの知識を「児童ソーシャルワーク」と表現しています。この資格を持って保育園・幼稚園に採用されると、保護者や地域社会を対象としての子育て支援や地域支援担当の保育者として活躍することが期待されます。

- ・ 本資格は、一般社団法人 **医療教育協会**が発行する。
- ・ 「医学一般」及び「児童ソーシャルワーク論」の科目を履修し、単位を取得すれば、「保健児童ソーシャルワーカー」の資格認定試験の受験資格が得られる。

科目名	単位	必要単位数
医学一般	2	必修
児童ソーシャルワーク論	2	必修